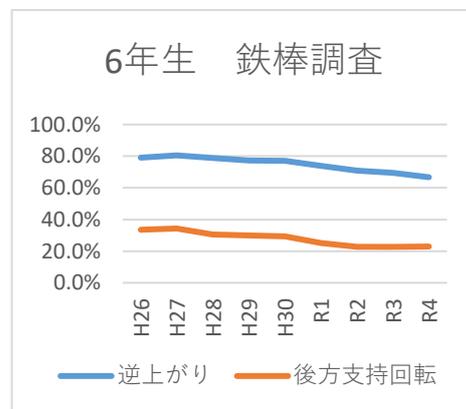
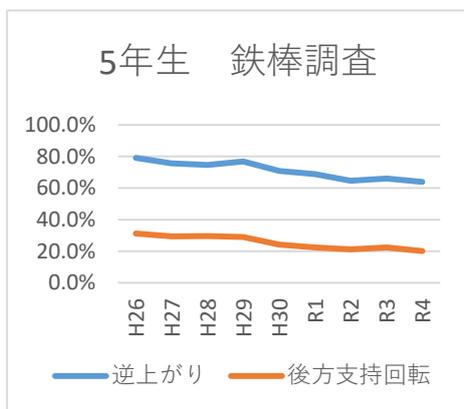
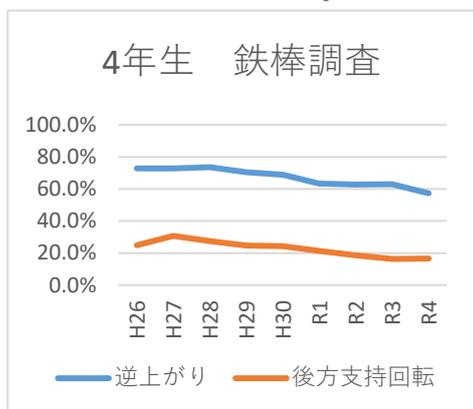
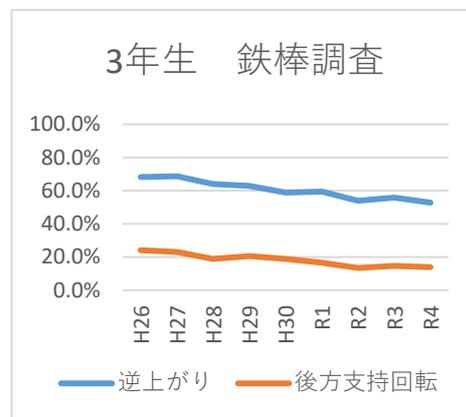
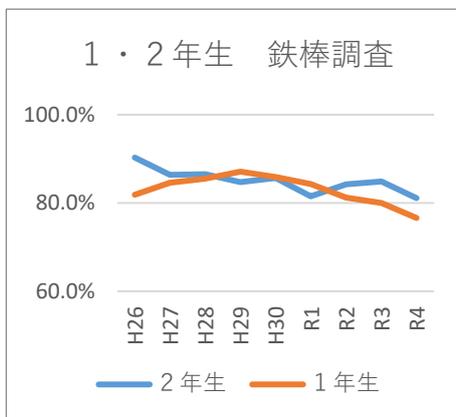


達成率は低下傾向 継続した指導が必要

	逆上がり	後方支持回転
6年生	66.7%	22.9%
5年生	63.9%	20.1%
4年生	57.3%	16.6%
3年生	52.8%	13.8%

	足抜き回り
2年生	81.1%
1年生	76.6%



過去8年間の調査結果を見てみると、前年度より多少数値が上がった年ではありますが、**全体的に見るとどの調査項目も低下傾向にあります。**

足抜き回りや、逆上がりができない理由として、

①筋力が少ない ②逆さまになる感覚や想像ができない 等が主に挙げられます。

(HP 保育のひきだし こどもの可能性を引き出すアイデア集 より)

これらを身に付けるためにも、**低学年段階からの積み重ね**はやはり大切です。1, 2年生のうちから**足抜き回りを継続的に指導し、達成率を上げていくこと**で、その後の逆上がりや後方支持回転の指導につなげやすくなるはずです。

また、①筋力 ②逆さ感覚の2つの要素は、鉄棒のみならず、様々な運動場面において重要な要素でもあります。**自分の体を支える筋力、逆さまになる感覚**を、低学年のうちから、継続的に身に付けるためにも、同じ器械運動である**マット運動での転がる運動**を、日々の体育授業に**補強運動として取り入れる**など、限られた時間の中でも効果的な指導ができるよう、日頃からできることに取り組んでいくと良いと思います。

鉄棒調査の数値が低下傾向にあるのは、**子供たち全体の体力低下に加え、鉄棒に取り組む時間が少なくなっていること**や、**教師の指導経験の差によって、教師がポイントを伝えられていないこと**も考えられます。

裏面では、**鉄棒技能向上につながる運動**を紹介します。ぜひ各校で鉄棒指導の参考にしてみてください。

